

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する四国電力株式会社等との面談

2. 日時：令和元年10月17日（水）13：30～17：30

3. 場所：四国電力株式会社東京支社会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 布田検査評価室長、笠川室長補佐

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 下崎技術研究調査官、伊東技術研究調査官、  
濱口技術研究調査官、小城技術研究調査官  
上田技術研究調査官、藤本技術参与

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループリーダー 他2名

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ リーダー

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 主幹プロジェクト統括 他3名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上級特別契約研究員 他3名

5. 要旨

（1）原子力規制庁から、配布資料（1）に基づき、伊方発電所3号機の確率論的リスク評価（以下「PRA」という。）モデルに関する質問事項について説明した。今後、原子力規制庁は、四国電力株式会社（以下「四国電力」という。）が質問に対して回答する上で、詳細な説明が必要なものについては、今後の面談の中で確認していくこととした。

（2）本年10月2日の面談に引き続き、原子力規制庁から提示した伊方発電所3号機のPRAモデルに関する質問事項について、四国電力から、配布資料（2）に基づき回答があった。今後、四国電力の回答において詳細な説明が必要なものについては、原子力規制庁は継続して面談で確認していくこととした。

- (3) 一般財団法人電力中央研究所原子力リスク研究センターから、伊方発電所3号機を対象にした停止時のレベル1 P R Aモデルに対する海外専門家レビューを本年10月28日から11月1日の5日間開催するとの説明があった。原子力規制庁は、伊方発電所3号機を対象にした停止時レベル1 P R Aモデルの確認のために、海外専門家レビューを傍聴することとした。

## 6. 配布資料

- (1) 事業者 P R A モデルの適切性の確認のための質問事項（その1）（原子力規制庁資料）
- (2) 事業者 P R A モデル（伊方3号機）の適切性の確認のための質問事項への回答（四国電力資料）